



いたびつ 板櫃 <校訓> 真理の探究 自主躍進

令和6年5月8日(水)発行
校長 栗原 博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

GW明けです！生活のリズムを取り戻そう！

10日間(今年は3日間の平日が挟まりましたが)のゴールデンウィークが終わりました。板櫃中学校のみなさんは有意義に、楽しく過ごすことができましたか。部活動や習い事、家族の方々と出かけたり、友だちと遊んだりしたことでしょう。来週は1年生はふれあい合宿、再来週は3年生の社会見学があります。生活リズムが崩れていた人は、はやくリズムを取り戻しましょう。



先生は社会人2年目の娘が帰省したので、佐賀、熊本へ行きました。楽しいはずのドライブで、残念なことがあったので、みなさんに考えてもらいたいと思います。

途中でマクドナルド(ドライブスルー)に寄った時のことです。先生の前の車が支払いを終えた時のことでした。運転していた男性が、「これ、両替して(かなり乱暴な言い方でした)！」と店員さんに言っていました。店員さん(おそらくアルバイトの大学生くらいでしたが)は、「すみません。両替はしていません。申し訳ございません」と説明しました。すると、「両替くらいできるやろうが！」と店員をもう一度怒鳴りつけたのです。店員さんは、ほとんど泣きそうでしたが、毅然とした態度で、「すみません。店の決まりでできません」と再度対応しました。そこで、この運転手はどのような態度をとったと思いますか。次から選んでみてください。

- ① 「無理を言ってすまんかったね。ありがとう」と言って、車を出した。
- ② 「両替くらいできるやろうが・・・」と文句をぶつぶつ言いながら去っていった。
- ③ 受け取ったレシートをくしゃくしゃに丸め、店員さんに思いっきり投げつけた。

さて、どれだと思いますか。ヒントは、上に書いているように「残念なこと」です。そうです、答えは③の「レシートを店員さんに投げつけた」でした。さらに、先生が怒りを覚えたのは、同乗していた奥さん(と思える人)、子供たちが笑っていたことです。「こんなことが許されるのか」と思いました。

みなさんもこれから社会人になります。その時に、大人として「やっていいこと、いけないこと」の判断をきちんとつけてほしいと思います(もちろん、中学生や高校生もやってはいけませんが)。せっかくのドライブでしたが、とても嫌な気持ちになりました。でも、このアルバイトの大学生は、嫌なことがあったにもかかわらず、先生に対して、「お待たせしてしまい申し訳ございません」と笑顔で対応したのです。この大学生の対応に救われた気がしました。

嫌なことがあったゴールデンウィークでしたが、ゴールデンウィーク明けに板櫃中のみなさんの元気な姿を見て、元気な声を聞いて、先生もまた、笑顔になりました!感謝!

今年のゴールデンウィークは、平日を休みにして10連休になった会社もあります。そして休み明け。気になるのは連休明けです。毎年連休明けには、体調を崩したり、気持ちが落ち込んだりという人が増えます。今年は特に、行動制限の緩和で久しぶりに旅行などで過ごした人も多いと思われ、勉強に戻る時の適応がうまくいかどうか心配です。



● 連休明け不調の原因と対策

小学校1年生や中学校1年生は、入学後すぐに連休に入り、生活リズムが乱れると適応が難しい場合が予想できます。学校以外でも年齢を問わず、久しぶりに家族で外出したり、友人、知人、親戚の人と会ったりと、環境が変化し生活リズムが乱れた方も多いでしょう。それぞれ対策をとって連休明けをぜひ乗り切りたいと思います。